

平成17年9月6日大水害

あれから10年

>27<

教訓は生かせるか？

ハネルディスカツション
「災害の教訓を生かす」

自助・共助・公助

状況でしたので、そう
いった（全域）避難勧
告になりました。

それぞれのお宅の状
況とかを考えていた行
動を取っていただき
たことも含めて

【首藤】昨年10月の台
風は市内のどこで被害
が起こるか分からな
いということでしたか
ら、全域に避難勧告を
出しました。

避難勧告とはいって
も、避難先は市が指定
する避難所だけではな
く、それそれに例
えば高台の親戚の家と
か、高層の建物に住ん
でいれば2階、3階、
4階に避難するとか、
いろんな避難の仕方、
垂直避難というような
言い方をしますけど、
こういったようなこと
もあるわけです。

住民からの要望

行政は災害に強いまちを 空振りになつても避難すること

防災・減災を考える
シンポジウムから

カトリーナのお話で、
さつきハリケーン・



台風が去った後の片付
けで山積みとなつた漫
水ごみ（平成17年9月
7日、延岡市北方町川
水流）

従つて避難をするとい
うのが一番いいのでは
なかろうかと思います。
【杉尾】ありがとうございました。

コーディネーター
杉尾哲（宮崎大学名
誉教授）

パリスト
首藤正治（延岡市長）
図師雄一（宮崎県県
士整備部長）

大塚法晴（元延岡河
川国道事務所長）

森川幹夫（九州地
方整備局河川部長）

猪狩信悟（NPO法
人宮崎県防災士ネット
ワーク理事長）

福島宏一（元延岡市
消防団長）

鶴長馨（元北方町川
水流区長）

【亀長】二つほどあ
りますけれども、よろ
しくお願いします。で
は次に「自助・共助・
公助」という言葉が盛
んに言われています。

【亀長】二つほどあ
りますけれども、そこ
まで状況ではあります
せんでした。ただ、市
内などで被害が起こ
るかわからないという
ことがあります。洪水が

すぐ上がらないよう
に川底の砂利の除去等
をしていただいたらど
うだらうかというのが
一POINTあります。

【亀長】二つほどあ
ります。行政に求める
ことは地域住民に求め
ることがあると思う
ことです。

【亀長】二つほどあ
ります。行政に求める
ことは地域住民から、今
後防災・減災のため
の活動についてお聞き
したいと思います。ま

【亀長】二つほどあ
りますけれども、そこ
まで状況ではあります
せんでした。ただ、市
内などで被害が起こ
るかわからないという
ことがあります。洪水が

すぐ上がらないよう
に川底の砂利の除去等
をしていただいたらど
うだらうかというのが
一POINTあります。

【亀長】二つほどあ
ります。行政に求める
ことは地域住民に求め
ることがあると思う
ことです。

【亀長】二つほどあ
ります。行政に求める
ことは地域住民から、今
後防災・減災のため
の活動についてお聞き
したいと思います。ま

【亀長】二つほどあ
ります。行政に求める
ことは地域住民から、今
後防災・減災のため
の活動についてお聞き
したいと思います。ま